

苗場山麓ジオパーク ジオサイト (裏面に全ジオサイト紹介) ▲ガイド同伴でないと入れません ❶見学不可

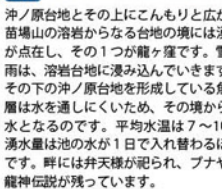
ジオサイト No.1 河岸段丘(マウンテンパーク津南からの眺望) MAP D-2

地球規模の気候変動を背景に中津川のたらしによりつくられた階段状の地形です。一番高い(=古い)上段丘は約40万年前につくられました。河岸段丘は全国に分布していますが、約40万年前の古い層状地が段丘として残っていること、幾段もの段丘をマウンテンパーク津南展望台から一望できることが苗場山麓ジオパークの河岸段丘の特徴です。



ジオサイト No.4 龍ヶ窪(日本水百選) MAP D-2

沖ノ原台地とその上にこんもりと広がる苗場山の溶岩からなる台地の境には湧水が点在し、その1つが龍ヶ窪です。雪や雨は、溶岩台地に浸み込んでいきすが、その下の沖ノ原台地を形成している魚沼層は水を通しにくいため、その境から湧水となるのです。平均水温は7~10℃、湧水量は池の水が1日に入れ替わるほどです。畔には井天楼が記られ、ブナやスギで覆われた付まいは神秘的で、数々の龍神伝説が残っています。



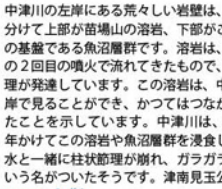
ジオサイト No.13 山伏山と風穴 MAP C-2

約220万年前から150万年前、陸化した間田山脈や中津川・志久見川上流部で起きた火山活動によって今の東頸城丘陵の山並みの頂部がつくられました。山伏山はその1つで、標高903mの釣鐘状の山です。山伏山の周辺では、かつて海だったことを示す二枚貝などの化石をふくむ地層を見ることが出来ます。また、山伏山の裾野には風穴が点在し、かつて数種の貯蔵施設として利用されていた歴史があります。



ジオサイト No.14 石落し MAP D-3

中津川の左岸にある荒々しい岩壁は、大きく分けて上部が苗場山の溶岩、下部がその地域の基盤である魚沼層群です。溶岩は、苗場山の2回目の噴火で流れてきたもので、柱状節理が発達しています。この溶岩は、中津川両岸で見ることができ、かつてはつながっていたことを示しています。中津川は、約30万年前かけてこの溶岩や魚沼層群を浸食し現在の位置になりました。春になると雪や水と一緒に柱状節理が崩れ、ガラガラと音を立てて落ちることから「石落し」という名がついたそうです。津南見玉公園から絶大な柱状節理を一望できます。



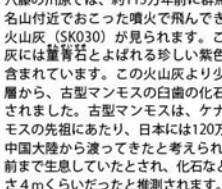
ジオサイト No.15 見玉不動尊と仁王門 MAP E-3

正式名称は「金玉山 正宝院」、本山は比叡山延暦寺、天台宗のお寺。平家の守護神である不動明王が祀られていることから通称「見玉不動尊」と言われます。その翌年、佐久間象山が工事を指導し、天然ダムを切り開いたので地名が「湯本」から「切明」になったと言われています。



ジオサイト No.16 穴藤の川原・古型マンモスの白歯化石出土地 ▲MAP D-3

穴藤の川原では、約115万年前に群馬県の榛名山付近で起こった噴火で飛んできた上越火山灰(SK030)が見られます。この火山灰には量産石とよばれる珍しい紫色の石が含まれています。この火山灰より少し上の層から、古型マンモスの白歯の化石が発見されました。古型マンモスは、ケナガマンモスの先祖にあたり、日本には120万年前頃、中国大陸から渡ってきたと考えられています。約70万年前まで生息していたとされ、化石などから体の大きさは高さ4mくらいだったと推測されます。



ジオサイト No.17 逆巻の川原と猿飛橋 MAP D-4

当地域で一番古い地層は、約1,800万年前から1,500万年前の日本海ができた頃の地層で結束層とよばれます。逆巻の川原では、千体仏像と形容される柱状節理の発達した結束層を見ることが出来ます。付近には鈴木牧之も描き残した猿飛橋がかります。



ジオサイト No.18 清水川原の屏風岩(犬蔵) MAP D-4

清水川原景観の背景には荒々しい溶岩がそびえています。これは鳥甲山と苗場山の溶岩からなり、溶岩部分は急傾のため植物が生育しにくく、それぞれの溶岩上に堆積した土には植物が生育するたため、秋にはその植物が色づき美しい屏風岩となります。



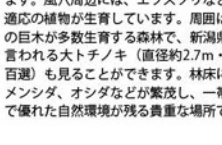
ジオサイト No.19 結束の石垣田 MAP D-4

結束集落の北側には、全国景観百選にも選ばれている美しい石垣田が広がっています。長い年月と努力をかけて築かれた石垣は、西側の岩壁、鳥甲山と苗場山の溶岩が崩れた落石を利用してしています。開墾が始まったのは明治25年頃、石積みの高さは高いもので3mもあります。また、溶岩壁下部には風穴の点在していて、エゾヒョウタンボクなど希少な植物が生育しています。ジオ、エコ、カルチャーが融合した素晴らしいスポットです。



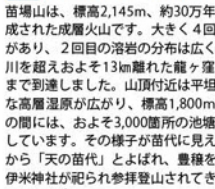
ジオサイト No.22 見倉の風穴・トチノキの原生林 MAP D-4

見倉集落近くの風穴は、漬物や野菜の貯蔵に現在も利用されています。もう1つの風穴は、金城山の裾野に位置し、1年を通じて1~10℃程度の夏でも寒いと感じるくらいの冷気が出ています。風穴周辺には、エゾスグリなどの寒冷地適応の植物が生育しています。周囲はトチノキの巨木が多数生育する森林で、新潟県内最大と言われる大トチノキ(直径約2.7m、森の巨人百選)も見ることが出来ます。林床にはリョウメンダ、オンダなどが繁茂し、一帯は原始的で優れた自然環境が残る貴重な場所です。



ジオサイト No.32 苗場山と伊米神社(日本百名山・花の百名山) MAP E-6

苗場山は、標高2,145m、約30万年前に形成された成層火山です。大きく4回の噴火があり、2回目の溶岩の分布は広く、中津川を超えおよそ13km離れた龍ヶ窪の近くまで到達しました。山頂付近は平坦で広大な高層溶岩が広がり、標高1,800m~山頂の間には、およそ3,000箇所の池達が点在しています。その様子が苗代に見えることから「天の苗代」とよばれ、豊稔を祈念した伊米神社が祀られ参拝登山されてきた歴史があります。



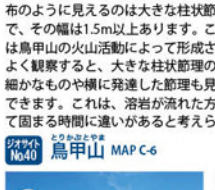
ジオサイト No.34 中津川上流の温泉群 MAP D-4~7

中津川沿いには、下流から、逆巻・結束・小沢沢・屋敷・上野原・和山・柳川高原・切明と温泉が点在しています。これは、この川沿いに断層などの多くの割れ目があることを示しています。それぞれ色や温度も異なり、温泉めぐりを楽しむこともできます。



ジオサイト No.35 布岩山 MAP D-5

屋敷集落の北東に、長い布を何枚も垂らしたように見える布岩山(布岩)があります。長い布のように見えるのは大きな柱状節理のためで、その幅は1.5m以上あります。この布岩山は鳥甲山の火山活動によって形成されました。よく観察すると、大きな柱状節理のほかに、細かなものや横に発達した節理も見ることが出来ます。これは、溶岩が流れた方向や冷えて固まる時間に違いがあると考えられます。



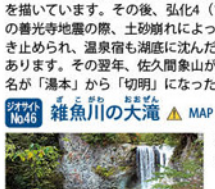
ジオサイト No.40 鳥甲山 MAP C-6

鳥甲山は、標高2,037mの火山です。約80万年前3回の噴火によって形成されました。中津川上流の屋敷や切明、その支流の雄魚川沿いには、鳥甲山の火山噴出物が広く分布しています。その後の長い間に風雨や雪崩、地震によって削られ、もとの火山の地形を残していません。白登山―鶴力―鳥甲山―赤登山―布岩山の連山を合んで「鳥甲火山」と総称します。日本二百名山の一つです。



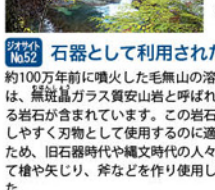
ジオサイト No.43 切明の川原(温泉湧出) MAP D-7

切明の川原を掘ると温泉が湧き出します。江戸時代の文政11(1828)年、この地を訪れた鈴木牧之は「秋山紀行」に「湯本」と呼んでその様子を記録し、温泉宿や薬師堂などを描いています。その後、弘化4(1847)年の普光寺地震の際、土砂崩れによって川がせき止められ、温泉宿も湖底に沈んだと記録があります。その翌年、佐久間象山が工事を指導し、天然ダムを切り開いたので地名が「湯本」から「切明」になったと言われています。



ジオサイト No.46 雄魚川の大滝 ▲MAP E-6

雄魚川の上流にある滝で「おおせん」と呼ばれています。この周辺地域では滝のことを「せん」滝のことを「かま(釜)」といいます。落差約20m、苗場山麓で一番古い地層である結束層の堅い変質した安山岩の凝灰角礫岩にかかる滝です。



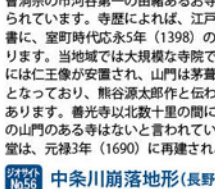
ジオサイト No.52 石器として利用された岩の露頭 MAP C-4

約100万年前に噴出した毛無山の溶岩の中には、無磁鉱ガラス質安山岩と呼ばれる黒く光る岩石が含まれています。この岩石は、加工しやすい刃物として使用するのに適していたため、旧石器時代や縄文時代の人々は加工して槍や矢じり、斧などを作り使用していました。



ジオサイト No.54 小滝四ツ廻りの運河跡 MAP B-2

江戸時代、物流における信濃川(千曲川)の通船の役割は大きなものでした。しかし難所が多かったため、文政11年(1828)、普光寺町(現・長野県長野市)に住む商人・小野厚達(現・小野厚達)が運河を掘削し、10年後の天明9年(1818)に岩石堀削が完了しました。四ツ廻りの川原ではその運河跡の堀削を確認でき、掘削斜面には船を押すための足掻き穴なども残っています。



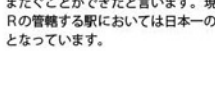
ジオサイト No.55 常慶院 MAP B-2

青洞市の市河谷第一の由緒あるお寺として知られています。寺壁によれば、江戸時代の文書に、室町時代永永5年(1398)の開山とあります。当地域では大規模な寺院で、仁王門には仁王像が安置され、山門は茅葺入母屋造となっており、熊谷源太郎作と伝わる彫刻もあります。普光寺以北数十里の間にこれだけの山門のある寺はないと言われています。本堂は、元禄3年(1690)に再建され、釈迦如来が安置されています。



ジオサイト No.56 中条川崩落地形(長野県北部地震) MAP C-2

信濃川左岸の東頸城丘陵地帯は、約260万年前~220万年前頃の古日本海の海岸線付近でした。そのため泥層、砂層、礫層、火山灰層、亜灰層などの地層が見られ、これらを魚沼層と呼びます。このような地質のため、昔から地すべりが多く、長野県北部地震の際も中条川や飯ノ口において、大規模な地すべりが発生しました。



苗場山麓ジオパーク Naebasanroku Geopark ジオサイトマップ

凡例 ❶ 温泉 ❷ 公共トイレ ❸ 道の駅 ❹ ジオパーク案内板・説明板・観光案内所

..... 自然歩道・登山道 ▲ガイド同伴でないと入れません。❶ 見学不可

見学の注意事項

- 落石や足場の悪い場所での転倒にお気を付けてください。
- 植物や鉱物を採ったり持ち帰ったりしないでください。
- クマやサルなど野生動物にご注意ください。
- ゴミはお持ち帰りください。
- 自転車の運転は、カーナビが誤って案内する場合がありますのでご注意ください。

雪国観光圏 SNOW-COUNTRY J.P

●と●の間の数字は千口数を表します。●地図の周辺地域はデフォルメしてあります。

苗場山麓ジオパーク 拠点施設・資料館

農と園の体験実習館なしもん E-1

企画展示や「縄文」産業「自然」などの体験実習が出来ます。本館の縄文土器を触ることができ、展示室を復元した縄文ムラもある。ジオパークコーナーでは様々な情報収集も可能。毎月曜日 09:00-12:00 入館無料。025-765-5511 http://www.najomon.com

津南町歴史民俗資料館 E-2

秋山郷や周辺地域の山村生産用具としてきた様子を伝え、これからの地域活性化に貢献する。ジオパークコーナーでは、タッチパネルでジオサイトを観覧することが可能。025-765-5511 http://www.new-greenpia.com

ニュー・グリーンピア津南 E-3

温泉・スキー場などを併設した大型宿泊施設で四季折々のアクティビティを楽しむことができます。ジオパークコーナーでは、タッチパネルでジオサイトを観覧することが可能。025-765-4611 http://www.new-greenpia.com

秋山郷総合センターとねぼ D-5

秋山郷にある観光案内施設。焼酎産業やマタギの民具などが展示されているほか、ジオパークコーナーでは、立体模型で苗場山麓の地形を観察することができます。025-767-2202

栄村震災復興祈念館「絆」C-2

栄村の美しい自然の中、これまで暮らしていた様子を伝え、これからの地域活性化に貢献する。ジオパークコーナーでは、タッチパネルでジオサイトを観覧することが可能。025-767-2100

秋山郷民俗資料館 D-6

古い民家を一般開放し生活民具を展示。地元出身作家の油絵ギャラリーも併設。(冬期休館) 025-767-2192

アプリをダウンロード!

「ジオパーク」無料 APP Store, Playストアからダウンロード。栄村・津南町の観光、お土産、宿泊施設等の情報が満載です!